

“メイドイン山形”ものづくりセミナー

～ デザイン思考 = 新たな価値を発見する問題解決の考え方 ～

本県ものづくり産業は、多種多様な技術が集積され、現在まで発展してきました。しかしながら、生活スタイルの多様化やそれにともなう価値観の複雑化が一層進展し、製品ライフサイクルの短命化が進んでおり、本県のものづくり産業が持続的に発展し続けていくには、“不断のイノベーション”が不可欠となっています。

そこで、新たな“ものづくり”に必要な顧客や生活者を基点としたイノベーションの創出手法として注目されている『デザイン思考』について、以下のとおりセミナーを開催します。

開催日時 平成29年7月14日(金) 14:00～16:30

会場 ホテルメトロポリタン山形 4階 霞城 (山形市香澄町1-1-1)

定員 80名

対象者 県内企業・金融機関・学術研究機関・市町村 等

講演

『日立におけるデザイン思考の取組み』

株式会社 日立製作所 研究開発グループ 東京社会イノベーション協創センター

主管デザイナー 古谷 純 氏

事例発表

平成28年度メイドイン山形ものづくり推進事業事例発表

- ・野々花染工房有限会社 「米織を用いた高級インテリア製品等の開発」
- ・株式会社マイスター 「独創的デザインによる人工股関節システムの開発」
- ・株式会社IBUKI 「アウトドア用割れない高級グラスの開発」

主催：山形県

後援：(公財)山形県産業技術振興機構 (公財)山形県企業振興公社 国立大学法人 山形大学
株式会社 山形銀行 株式会社 荘内銀行 株式会社 きらやか銀行

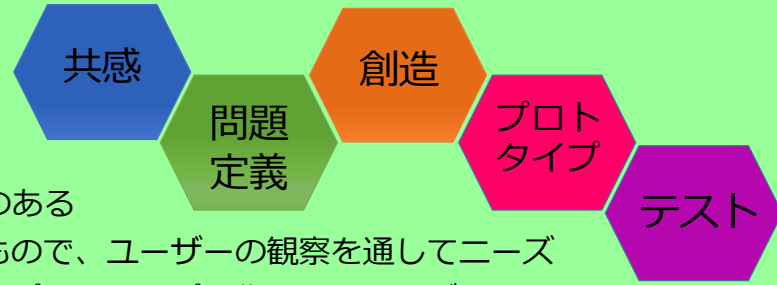
(問い合わせ)

山形県商工労働部工業戦略技術振興課 ものづくり振興担当 電話:023-630-2358

『デザイン思考』とは

シリコンバレーのテクノロジー企業の多くが実践するサービスや製品開発の方法論。

デザイン会社の米IDEOや、IDEOと深い関係のあるスタンフォード大学「d.school」が定式化したもので、ユーザーの観察を通してニーズを認識し、サービスや製品のアイデアを発案し、プロトタイプを作ってはユーザーからのフィードバックを元にそれを作り直すというサイクルを何度も素早く繰り返すことで、製品やサービスをより良いものにしていく手法。開発事例としてアップル社のiPod、任天堂のWiiがある。



講師紹介

古谷 純 氏

株式会社 日立製作所 東京社会イノベーション協創センタ サービスデザイン研究部
 主管デザイナー兼地方創生プロジェクトリーダー

(主な経歴)

- 1983年 早稲田大学理工学部 卒業
- 同年 株式会社 日立製作所 入社 家電研究所配属
- 1986年 デザイン研究所転属
 家電製品、情報端末等の製品デザインおよび金融システム、電子マネー、RF-IDタグ 応用サービスなどの新事業系事業のデザイン業務を経てサービスデザインに従事。

平成24年産業競争力懇談会（COCON）「コトづくりからのものづくりWG」委員
 平成25年文部科学省「イノベーション対話促進作業部会」委員

山形県商工労働部工業戦略技術振興課 ものづくり振興担当 行き

FAX: 023-630-2695 E-mail: ykogyo@pref.yamagata.jp

「メイドイン”やまがたものづくりセミナー」参加申込書(申込期限:7月11日)

企業名			
所在地	〒 TEL. FAX.		
担当窓口	職・氏名	E-mail	
参加者	所属名	役職名	氏名

※担当窓口の方が出席される場合も、お手数ですが参加者への記入をお願いします。